

## 自己点検・評価報告書

この自己点検・評価報告書は、専門学校麻生工科自動車大学校の平成29年度の自己点検・評価活動の結果を記したものである。

# 自己点検・評価 報告書

専門学校麻生工科自動車大学校

平成30年 3月 31日

校 長 野見山 秀樹

自己点検・評価責任者

校長代行 大熊 一博

### 目 次

基準 1 理念・目的.....	- 2 -
基準 2 教育の内容.....	- 3 -
基準 3 教育の実施体制.....	- 5 -
基準 4 教育目標の達成度.....	- 6 -
基準 5 学生支援.....	- 7 -
基準 6 学生募集・受け入れ.....	- 9 -
基準 7 社会的活動.....	- 10 -
基準 8 管理運営・財務(学校・グループ).....	- 10 -
基準10 改革・改善・情報提供.....	- 12 -

※基準9は評価対象外

### 評価結果

S:達成度がきわめて高い

A:ほぼ達成している

B:達成がやや不十分であり、若干改善を要する(要観察:放置すると不適合になる)

C:達成は不十分で改善を要する(不適合)

2017年度より、評価基準をより具体的なものにするとともに、内容をより掘り下げたものに改訂した。

平成29年度  
(2017年度)

## 基準 1 理念・目的

### 基準1 総括

建学の精神については、校訓「無私」を麻生塾の基本価値とし教職員・学生の心のよりどころとすることを、学生便覧等に明文化して浸透を図っています。学外に対しては Web サイトで紹介しています。新任の教職員には、グループ企業研修会の際に麻生塾発祥の地に建立している「無私」の碑を見学し、その由来を説明しています。

また麻生塾では、創立当初より企業や組織に求められる人材を育成することを理念として専門教育を行なってきました。この理念は麻生塾のミッションの一部として明文化して、学内に掲示等を行なっており、学外には Web サイトで紹介しています。学科の目標(育成人材像)および教育計画(カリキュラム)は文書化し、学生便覧および Web サイトで学内外に提示・公表しています。

### 見つかった課題

学校法人としての教育理念に基づいて、教育目標等を掲げている。今後、教育理念に基づいた教育内容の定期的な見直しが必要である。

### 改善策又は改善の方向性

法人の教育理念をふまえ自動車業界を目指す人材教育に適する様、定期的な見直しを行う。

### 中項目 1-1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

#### ■中項目総括

パンフレット及びホームページにて年度毎に公開している。教職員についてはルールブックに記載し、全員へ配布周知している。学生には、入学時に学生便覧を配布し説明を行っている。

### 小項目 1-1-1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：S

#### ■コメント

特記事項なし

### 小項目 1-1-2

「学校の教育理念」は明文化し、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生としてふさわしい資質として周知させているか。

■自己点検・評価結果：A

#### ■コメント

学生便覧に記載し、新入生オリエンテーション等の導入教育にて新入生全員に周知している。

### 小項目 1-1-3

「学校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。「学校の教育理念」は社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

#### ■コメント

職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などは、職業実践専門課程での委員会において毎年度見直しが図られている。「学校の教育理念」については教職員全体で毎年度確認し公開している。

### 小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「学校の教育理念」から導き出されたものになっているか。またそれらを文書化し社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：S

#### ■コメント

特記事項なし

### 小項目 1-1-5

教育課程(カリキュラム表など)を文書化し、学生に提示し、学生は内容を理解しているか。またそれらを社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：S

#### ■コメント

各学科の教育目的及び教育計画は学科別に作成・文書化し教員・学生に提示しており、学生に説明している。Webサイト、パンフレットなど適切な方法で学外に公表している。

## 基準 2 教育の内容

### 基準 2 総括

教育目標や人材育成像は各業界からのアンケート情報等により人材ニーズを把握し、学科の教育期間で到達可能なレベルとしています。また、カリキュラムは教務会議やカリキュラム会議等で検討し体系的に編成しており、各科目間のつながりも適正です。カリキュラム作成においては、広報課から高校関係者のヒアリングを行うとともに、平成 25 年度より業界関係者・有識者などの関係者で構成される教育課程編成委員会を発足させ、同委員会の意見を参考にカリキュラム開発を行っております。日本語科のカリキュラム作成においては、留学生のレベルやニーズなどの現状を反映するため、募集担当者とも容易に情報交換できる環境にあります。

また、就職課からの業界情報を教務にフィードバックし、カリキュラム開発を行っています。教科ごとのシラバスを作成しており事前に学生に配布し、到達目標を説明しています。

授業評価は教師アンケートを実施しており、結果をフィードバックすることにより授業の改善に繋がっています。教員については学科の育成目標に向けた授業を行うことができる要件をみたしており、人材開発システムに基づきスキルの向上を図っています。成績評価・単位認定は明確に定められており学生便覧で周知しています。資格取得については、各学科で明確に定められています。

### 見つかった課題

全ての教科でコマシラバスを作成しているが、教科によっては改善を必要とする。

日本語科において、入学後の学生については、補講が必要な場合は適宜実施をしているが、今後、入学予定者の基礎学力や日本語能力を把握する手段を再整備し、事前教育の強化を図る。

### 改善策又は改善の方向性

コマシラバスの内容を充実させ、運用する。

日本語科に関して、日本語の既習暦が十分でない入学者については、最低限ひらがな・カタカナの練習と「みんなの日本語初級 I」の 1 課～4 課までの内容について、予習の強化を図っていく。

### 中項目 2-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

■自己点検・評価結果：**A**

■中項目総括

年2回実施している教育課程編成委員会にて業界の方の意見を聞き、カリキュラムの検証及び見直しを図る。

### 小項目 2-1-1

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)として、卒業認定のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するか等の基本的な方針を定めているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

特記事項なし

### 小項目 2-1-2

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント 学校関係者評価委員会を実施し育成人材像及びカリキュラムを作成して社会に公表している。

### 小項目 2-1-3

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバスを作成しているか。シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

「教育内容評価」の重要点として、学校・学科の「育成人材像」を明確にしている。カリキュラムの文書化について修業年限分の一覧表を作成し学生にも公開している。

### 小項目 2-1-4

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、カリキュラム改善のために意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

教育課程編成委員会を実施し、各方面からの意見を取り入れカリキュラム作成に反映させている。

### 小項目 2-1-5

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に関証・見直しているか

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

各教科で半期ごとに見直しを行っているが、今後更に、カリキュラム内容を検証・見直した上で、精査していく。

## 中項目 2-2

教育方法は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果：**A**

■中項目総括

教育方法については確立しているがさらに精度を上げる必要がある。

## 小項目 2-2-6

授業方法は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

特記事項なし

## 小項目 2-2-7

コマシラバスを作成し、授業の中で概略と到達点を学生に周知しているか。シラバス・コマシラバスに基づいて授業を展開しているか。

■自己点検・評価結果：**B**

■コメント

学生に対して、周知の必要がある。

## 小項目 2-2-8

学習の評価は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

特記事項なし

## 中項目 2-3

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■自己点検・評価結果：**A**

■中項目総括

各教員の経験等に応じて、研修計画に則って参加している。

研修や授業アンケートの結果をふまえ計画的な改善が必要。

## 小項目 2-3-9

学生による授業評価を定期的に行なっているか。評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

授業アンケートを年 2 回以上実施し、面談及び改善項目をフィードバックし 改善記録を保管しているが、改善の有効性について検証する必要がある。

## 小項目 2-3-10

学生による授業評価以外で、授業改善のための取組みを組織的、計画的に行なっているか。(授業改善委員会、FD等、名称問わず)

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

チューター制度を実施しているが改善活動の効果を検証する必要がある。

## 小項目 2-3-11

教員の専門性や指導力等の維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

就職指導研修や教科勉強会を実施している。

## 中項目 2-4

業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか

■自己点検・評価結果：**A**

■中項目総括

年2回実施している教育課程編成委員会にて業界の意見を聞きながら、カリキュラムの改良を行っている。リメディアル教育においては、更に充実する必要がある。

小項目 2-4-12

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

インターンシップを実施して、報告書の作成・記録をしている。

小項目 2-4-13

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

GCB 教育、マナー教育、新聞を活用した授業を行っている。

小項目 2-4-14

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果:A

■コメント

リメディアル教育を実施しているが、教育の検証結果に基づいた対策を充実させる必要がある。

基準 3 教育の実施体制

基準 3 総括

教育環境については教育目標の達成や人材育成がスムーズに行われるように教職員を組織化しており、キックオフ会議資料に掲載しています。

学校の年間スケジュールに関しては年間ターム表を作成し教職員・非常勤講師・学生に配布し周知できるようにしています。就職支援に関しては、就職課を設置し、求人検索システム・求人票・企業パンフレット・受験マニュアル・受験報告書などのツールを揃えとともに、各学科や地域の求人に対応できる専属の就職担当者を設け、クラス担任と連携を取り就職のサポートを行っています。

学内外の安全対策に関しては防災・防犯設備の点検や避難経路の掲示や避難訓練を行い、学校生活における行事、実習の保険に加入しています。

見つかった課題

就職や業界情報に必要な資料が十分とは言えない。

改善策又は改善の方向性

学校の教育理念、学科の教育目的、育成人材像に向けた教育を実施してまいります。

中項目 3-1

専修学校設置基準その他法令を遵守しているか。

■自己点検・評価結果:S

■中項目総括

各種の法令を遵守し運営している。

小項目 3-1-1

教員は法令が定めた教員要件を満たし、必要な人員を適切に配置しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

特記事項なし

小項目 3-1-2

校地・校舎・講義室・実習室等の面積は、設置基準その他法令の基準を満たしているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

特記事項なし

中項目 3-2

教育の実施体制を整備しているか。

■自己点検・評価結果:S

■中項目総括

常勤及び非常勤によって、学科学年ごとに組織している。

小項目 3-2-3

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

各学科、学年に相応しい教員組織を整備している。

小項目 3-2-4

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

年 1 回講師会を実施している。また 毎日の授業報告書を担任が確認することで情報を共有している。

中項目 3-3

教育環境を整備・活用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

教育環境は整っているが、運用方法について不十分な施設があるため整備していく。

小項目 3-3-5

実習で使用する学校設備機器、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

施設設備の保守・管理を定期的に行い記録している。

小項目 3-3-6

学内外実習時の安全対策を立案・文書化し、十分な対策を取っているか。対象となる学生にはそれらを十分理解させたい  
えで実習に参加させているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

実習場利用規定を設け周知している。

小項目 3-3-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

法令に従い防災設備の整備・点検を実施し、防災訓練を行っている。

小項目 3-3-8

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

進路指導室を設け就職活動に必要な資料を備えているが、利用度合いの数値化や満足度調査の実施までには至っていない。

小項目 3-3-9

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えて活用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

今後、管理体制や種類について検討し改善が必要である。

基準 4 教育目標の達成度

基準 4 総括

年度開始前に学科会議で前年度の結果や評価を考慮し、学生に関する目標設定を行い、キックオフ会議で教職員が情報共有、周知できるようにしています。

就職に関しては各学科について月ごとの目標を設定しています。内定状況や学生の内定先など就職の動きが教職員で共有できるシステムを作成し、データの管理を行っています。就職担当と担当教員で毎週実施している定期会議やミーティングを開き、学生の就職状況に関して検証を行い、教職員に対して学科会議などで定期的に報告を行っています。学校のパンフレット・HP・オープンキャンパス・入試説明会・保護者会などで外部に対して就職実績を公表しています。

評価・成績・資格・検定・退学に関しても担当者会議を設け目標設定を行い、結果や結果に対する検証を文書化し記録すると共に教務会議などで教職員に共有しています。

見つかった課題

国家資格試験や検定の合格率。

改善策又は改善の方向性

各種検定の合格に向けてのプロセスの改善を実施する。

中項目 4-1

各学科の教育目的に向けた達成度および成果を評価・公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

キックオフ会議にて全教職員が目標を共有し、検定や資格の結果については、学科 学年会議で振り返り、次回に向けての改善を行っている。

小項目 4-1-1

ディプロマ・ポリシー(卒業認定の基本方針)として、どのような力を身に付けた者に卒業を認定するか基本的な方針を定めているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

特記事項なし

小項目 4-1-2

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

麻生塾システムに記録。成績評価を基に検証・報告を実施している。

小項目 4-1-3

いわゆる「養成校」の国家資格試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

検定結果報告書で報告し、教務会議にて検証・改善を行っている。今後は 公表に向けて準備を進める。

小項目 4-1-4

資格・検定に関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

検定結果報告書で報告し、教務会議にて検証を行い改善を図っている。

小項目 4-1-5

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果：S

■コメント

毎年設定し、事業計画書に記載している。前年度の検証を実施し、就職キックオフ等で就職スケジュールを周知している。

小項目 4-1-6

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

全教職員で取り組んでいるが 公表までには至っていない。

基準 5 学生支援

基準 5 総括

平成29年度の求人数は404件で堅調に推移しました、内定率に関しては平成30年3月末で100%を達成しています。各種学内説明会については、平成29年度は114社の企業様にご来校いただき、学内で説明会・選考会を実施していただきました。

他に企業別面接指導や業界理解セミナー、職業理解セミナーなど企業人事担当・OB・OGを招聘し積極的に実施しました。

学生相談に関してはカウンセラーが相談に応じます。学生の経済的な支援は分割納入制度や各種奨学金について学生課が行っており有効に機能しています。

見つかった課題

留学生に対する就職支援

改善策又は改善の方向性

学内説明会については昨年度同様多くの企業様に御来校いただき、進路指導に大きな幅を持たせることが出来ました。今後さらに増加が予想される留学生に対しての就職支援や教育方法を検討する必要がある。

中項目 5-1

学生支援体制を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

クラス担任によるフォローを中心に、各種専門の相談窓口を設置しているが、周知や機能が不十分な箇所があり今後充実させていく。

小項目 5-1-1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

定期的に個人面談や三者面談を実施し、ガイダンス記録表に記録している。

小項目 5-1-2

保護者と計画的な相談や面談を行ない、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

計画的に三者面談を実施している

小項目 5-1-3

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー等)を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

有資格者による進路相談を実施している。有効性の確認や学生の満足度を調査において、改善していきたい。

小項目 5-1-4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

定期的にかウンセラーが学内を訪問し、学生相談を行っているが、有効性の確認や満足度の確認までには至っていない。

小項目 5-1-5

ハラスメント防止に関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

ハラスメント委員を設置し相談窓口を設け、学生や教職員に周知している。

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

奨学金制度や学校独自の学費免除制度、分納制度が確立している。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

国際交流センターと連携し、留学生受け入れ制度があり、支援を行っている。有効性の確認や満足度の調査について今後行っていく。

小項目 5-1-8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

各クラブ活動に顧問を置き、活性化・支援を行っているが満足度の調査は実施していない。

中項目 5-2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

## ■中項目総括

校友会(同窓会組織)が平成 27 年度から本格的に活動をはじめ、卒業生等に対する支援ができる仕組みができ、今後は十分な周知と支援を実施する必要がある。

## 小項目 5-2-9

卒業生の就業先へ定期的な訪問をし、1年後の在籍状況を把握しているか。また、キャリア教育の成果を把握して、学校の教育活動に活用しているか。

## ■自己点検・評価結果:A

## ■コメント

卒業生の就業状況を把握する仕組みがあり、卒業1年後の就業状況を把握しているが、キャリア教育の成果把握は不十分であり就業状況の記録を見直す必要がある。

## 小項目 5-2-10

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

## ■自己点検・評価結果:S

## ■コメント

校友会の再就職斡旋希望者向けに、Webサイト等を使用して求人紹介を実施している。

=====

**基準 6 学生募集・受け入れ**

=====

## 基準 6 総括

平成29年度は、29回のオープンキャンパスと13回の入試を実施しました。願書提出数は 125名で、入学予定者数は117名となりました。平成30年度は、29回のオープンキャンパスと13回の入試を予定しています。

## 見つかった課題

オープンキャンパス動員数及び入学者数。

## 改善策又は改善の方向性

これから更なる18歳人口の減少が続くため、留学生及び小中学生まで、募集対象者を拡大していく。

## 中項目 6-1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

## ■自己点検・評価結果:A

## ■中項目総括

募集活動・入学選考は適切に実施している。しかし、充足率において改善が必要である。

## 小項目 6-1-1

アドミッションポリシー(学生の受け入れ方針)を定め文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

## ■自己点検・評価結果:S

## ■コメント

アドミッションポリシーを公表して、学校および各学科がどのような能力や意欲を持った学生を求めているかを明らかにし、入学の際のミスマッチをなくしている。

## 小項目 6-1-2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

## ■自己点検・評価結果:S

## ■コメント

県内外を問わず教職員が訪問し、ガイダンス等を実施する中で進路ニーズを把握し学生募集活動に反映させている。

## 小項目 6-1-3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

## ■自己点検・評価結果:A

## ■コメント

教育成果を正確に伝えてはいるが、一部公表していない項目があり、今後公表に向けて準備を進める。

## 小項目 6-1-4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

## ■自己点検・評価結果:S

## ■コメント

募集用パンフレットに明示している

## 小項目 6-1-5

募集要項等には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

募集要項等に妥当性のある学費の内訳、支払時期および金額、その他教材費等の概算の金額を明示している。

小項目 6-1-6

募集要項等には入学者の選抜方法を明示し、選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

募集要項等に選考方法を明示して、公正かつ適切な入学者選考を行なっている。実施方法や選考基準については定期的に検証している。

小項目 6-1-7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果：B

■コメント

募集に関しての運用は適正に実施している。充足率において今後改善が必要である。

基準 7 社会的活動

基準 7 総括

教育ノウハウを活用した職業訓練や緊急雇用対策事業、NPO法人・ボランティア団体等への支援や職員の参加奨励、国内外からの教育施設見学受入など積極的に社会貢献を進めています。また、学生のボランティア活動は、推進委員会を設け教育内容を生かし連携を図りながら推進しています。

地域貢献への取り組みとして、小学生を学校に招いての職業体験イベントや、中学校に出向いて社会人講話などを実施しています。

見つかった課題

計画的かつ専門性を生かした社会的活動。

改善策又は改善の方向性

社会的活動も定着しつつあるが、さらに教育内容を生かした講座の開催やボランティア団体を通した社会貢献を進めていきます。

中項目 7-1

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

地域学校への公開講座は計画的に実施しているが、社会的活動について計画的に学生への案内や必要性について周知する取り組みが必要。

小項目 7-1-1

学生に対し、計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果：B

■コメント

ボランティア活動に関しての計画が確立しておらず、計画的な社会的活動を推進していく。

小項目 7-1-2

学校は教育資源を生かした地域住民参加の公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

企業への設備提供や講座、地元 小中学校対象の課外授業等を実施している。

小項目 7-1-3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

お仕事スタジアムという職業紹介の無料イベントを企業と連携して毎日開催している。

基準 8 管理運営・財務(学校・グループ)

基準 8 総括

麻生塾では社会に信頼される学校であり続けるためにコーポレートガバナンス体制の充実化とコンプライアンスの遵守徹底に努めています。

平成25年度からは人事考課制度である新人材マネジメント制度を実施し研修制度とリンクさせて教職員の資質向上に努めています。

見つかった課題

特記事項なし

改善策又は改善の方向性

特記事項なし

中項目 8-1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■自己点検・評価結果:S

■中項目総括

規程通りに運営している。

小項目 8-1-1

各学校、各グループで運営会議(教務会議・グループ会議等)を定期的に行なっている。進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

学校運営責任者を含めた学校運営に関わる会議を定期的に行なっている。議事録を作成し、時系列で保管している。

小項目 8-1-2

各学校および各グループの構成員全員の職務分掌(業務の内容および責任・権限)を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

各学校・各部署、職位に基づく職務分掌を明確に文書化している。文書は教職員に公開している。

小項目 8-1-3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的に行なっているか

■自己点検・評価結果:S

■コメント

防災・防犯、非常時対策が文書化され、法令に従い防災訓練が行われている。

小項目 8-1-4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

個人情報保護法に沿った規程を作成し文書化している。規程は公開して教職員に周知している。

小項目 8-1-5

ハラスメント防止に関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

ハラスメント委員会を設置し規定を文書化し適切に運用している。

小項目 8-1-6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

目標を達成に向けて十分機能するよう、職員の資質向上のための研修計画があり、実施している。

中項目 8-2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果:S

■中項目総括

財務体質は健全で、財務運営は適切に行われている。

小項目 8-2-7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

中長期計画に基づいた毎年度の事業計画と予算が、関係部門の意見を集約し適切な時期に決定している。決定した事業計画と予算は速やかに関連部門に伝達している。

小項目 8-2-8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

年度予算を適正に執行し定期的な管理を行なっている。日常的な出納業務は円滑に実施している。

小項目 8-2-9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

固定資産管理運用基準を設け、その基準に従って運用している。

=====  
基準 10 改革・改善・情報提供  
=====

基準 10 総括

自己点検・評価委員会を組織しており、評価項目ならびに評価時期を明文化しています。自己点検・評価の必要性、結果の検証ならびに改善計画についても、全教職員に向けて、キックオフ会議等で共有する機会を設けています。

見つかった課題

自己点検・評価 改善計画の検証。

改善策又は改善の方向性

自己点検評価結果を検証し、改善に活かしていく。

=====  
中項目 10-1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

自己点検・評価活動の実施体制は確立しているが、改革・改善のためのシステムをさらに充実していく。

-----  
小項目 10-1-1

自己点検・評価の意義を全教職員に伝え、点検・評価活動の方法や評価基準を共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

適宜、全職員へ情報共有できる機会を設けている。

小項目 10-1-2

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

自己点検・評価は毎年実施し、内部監査終了後に改善計画を作成・実施しているが、結果の検証までには至っていない。

小項目 10-1-3

自己点検・評価報告書は、公開に際して外部の方にわかりやすいような表現にしたり、必要な解説を加えたか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

特記事項なし

=====  
中項目 10-2

公的な教育機関として、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供しているか。

■自己点検・評価結果：S

■中項目総括

特記事項なし

小項目 10-2-6

法令およびガイドラインに従い積極的に情報提供の取り組みを行なっているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

特記事項なし

小項目 10-2-7

提供している情報はガイドラインに示された項目に沿ったものであるか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

特記事項なし

小項目 10-2-8

情報提供は対象者に合わせて情報の内容や提供手段を工夫し、わかりやすく効果的であるか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

特記事項なし